

関経連 NOW ファーストペンギンの心意気で果敢に挑戦していく関西！

2021年5月31日、関経連は第59回定時総会を開催。役員を選定等の決議のほか、2021年度の事業計画や予算の報告等を行った。今回の総会も昨年に続き来場者を大幅に制限するなど、新型コロナウイルス感染症への対策を講じた形での開催となった。

ここでは関経連会長として3期目を迎えた松本会長へのインタビューとともに、「関西ビジョン2030」の初年度としても、次期中期計画への橋渡しの年としても重要な意味を持つ今年度の事業計画、さらには2021～2022年度の事業推進体制について紹介する。



松本会長・新任副会長による記者会見

2020年度の活動から



「関西・新型コロナウイルス医療体制支援基金」を活用し、関西健康・医療創生会議の関西共同研究プロジェクトの立ち上げを支援（2020年8月記者発表）



「関西ビジョン2030」発表会見（2020年12月）



「関経連アセアン経営研修」が令和2年度外務大臣表彰を受賞（2020年12月）

“関西のありたき姿”の 実現に向け、想いを一つに

関経連会長として3期目を迎えた松本会長。2期4年の活動を振り返っての思いや、「関西ビジョン2030」に掲げた“関西のありたき姿”の実現に向けての思い、そして今後の活動への抱負などを聞いた。

会長インタビュー



松本 正義

関西経済連合会会長

——2017年の就任から、会長を2期務められましたが、振り返ってみていかがですか。

2017年5月に関経連会長に就任してからの4年間、「Look West」「グローバルな視点での舞台としての関西」を視点として掲げ、希望と夢にあふれた活力ある関西の創造をめざして取り組んできました。皆さまにご協力をいただき、多岐にわたる事業において着実に歩みを進めることができたと思っています。

ここでは特に力を注いできた3つの事業を中心に振り返りたいと思います。まずは「万博誘致活動」。地元である大阪・関西はもちろん、日本全体を巻き込み、関係者が一丸となって懸命に取り組みました。私も博覧会国際事務局(BIE)のあるパリに何度も足を運び、日本のめざす万博の素晴らしさを各国代表にアピールしました。大阪・関西での開催が決まった時はうれしかったですね。現在、2025年日本国際博覧会協会を中心にオールジャパンの体制で準備が進められており、関経連も万博会場等で実装・実証するアイデアの提案や、全国的な機運の

醸成など全面的に協力しています。

二つ目は、2019年4月に設立した「アジア・ビジネス創出プラットフォーム(ABCプラットフォーム)」です。7つのテーマ別部会(人材育成・活用、医療・介護、中堅・中小企業支援、農業、観光、環境、スタートアップ)の活動を通じて、アジア各国と関西との双方向でビジネス・人材・情報の交流を活発化させ、ニーズの掘り起こしやビジネスマッチングの拡大につなげられるよう邁進してきました。各国の経済団体と交流を深めるなかで具体的な成果も出てきている一方、新たな課題の発見もあり、確かな手応えを感じています。

三つ目は「スポーツ振興」です。2018年7月に「関西スポーツ振興ビジョン—スポーツで輝く関西—」を公表、同年12月には、関西の経済団体・自治体・スポーツ関係団体・大学等の代表が一堂に会し、スポーツ振興に関して議論・検討・推進を行う「関西スポーツ振興推進協議会」を立ち上げました。以来、スポーツで輝く関西の実現に向けて取り組みを進めています。

これらは2017年に策定した第3期中期計画で5枚の

花びらに例えた重点項目のうち、「文化／観光」「グローバル／アジア」「スポーツ」に関する取り組みです。残り2項目のうち「地方創生」としては関西広域連合への提言などに、そして「産業イノベーション」については医療・健康や航空機といった分野の産業基盤整備や、ベンチャー・エコシステムの構築などに取り組みました。

また、これらのベースとなる「インフラ」に関しては関西3空港懇談会の8年ぶりの開催、「ビジネス基盤」においては米国ビジネスラウンドテーブルとの意見交換などが印象に残っています。すべての事業には触れられませんが、各テーマに全力で取り組んできました。

これらの活動が会員の皆さまに日々支えられていることをあらためて実感しています。この場を借りて感謝を申し上げます。

——さまざまな形でコロナ禍の影響を受けた2020年度の活動についてはどのように評価されていますか。

コロナ禍という未曾有の事態に際し、経済団体としてどのような活動を行うべきかを常に自問自答し、模索しながら懸命に取り組みを進めてきた一年でした。

具体的には、新型コロナウイルスの感染拡大への対応として、困窮する方々や事業者への支援策の充実などを求め、5月・6月と2度、政府への要望を取りまとめました。また、医療・検査体制の充実をはかるべく、会員の皆さまへ医療物資の協力・寄附のお願いや企業関連施設登録の呼びかけを行うとともに、「関西・新型コロナウイルス医療体制支援基金」を設け、皆さまからの貴重な寄附を関西広域連合を通じた自治体等への支援や、関西健康・医療創生会議の関西共同研究プロジェクト立ち上げの支援に充てさせていただきました。

事業としては、ベンチャー・エコシステム形成に向けた「起業街道・関西プロジェクト」の始動、コーポレートガバナンスに関する意見発信、先ほども触れましたが、設立10年を迎えた関西広域連合のさらなる進化への提案を盛り込んだ意見書、女性活躍推進に資するガイドラインの取りまとめ、初のオンライン開催に挑戦した関西財界セミナーなど、やるべきことをこの状況下での可能な手段を探りながら活動を進めてきました。また、40年にわたる取り組みが評価され、「関経連アセアン経営研修」が外務大臣表彰を受賞するという喜ばしいニュースもありました。

さらに、昨年12月には12年ぶりとなる長期ビジョンとして「関西ビジョン2030」を策定しました。ビジョン全体を貫くコンセプト「先駆ける関西、ファーストペンギ

ンの心意気」に基づき、“2030年の関西のありたき姿”として、「オープンで独創的な価値を生む経済」「ヒトを惹きつける舞台」「新たな社会モデルのトップランナー」を掲げました。そして、その実現に向けた今後の取り組みの方向性を「7本の矢」として示しています。

——“関西のありたき姿”の実現に向け、2021年度はどのような活動を進めていくのでしょうか。

本年度は、「7本の矢」をはじめ、ビジョンに込めた想いや掲げた項目を個々の事業の方針や内容に落とし込み具体化していく年となります。「7本の矢」の中でも、特に国のかたちを変える「道州制実現につながる地方分権・広域行政の促進」と関西企業に連綿と受け継がれている公益的な経営精神である「三方よしにもとづく『民の力』を効果的に発揮する仕組みづくり」は、関経連が長年高い志と強い意思を持って取り組みを続けており、今後も旗を振って推進していくべき重要なテーマであると考えています。

これらを含めた「7本の矢」を具現化すべく、2021年度中に第1期中期計画(2022～24年度)を策定します。“関西のありたき姿”の実現のための具体的な道筋・戦略をしっかりと立て、不退転の覚悟で挑んでまいります。

——3期目の抱負と、会員の皆さまへのメッセージを。

3期目は、関経連はビジョンの実現に着実に取り組んでいるな、結果を出しているな、と皆さまに評価いただける成果を出していきたいと思っています。

新型コロナウイルス感染症については先が見通せない状況ではありますが、この難局を何とか乗り越え、“ピンチをチャンスに変える”べく、まさしく「ファーストペンギンの心意気」で関西が先駆けて果敢に挑戦していくべきだと考えています。

関西の持続的発展に向け、まずは「ONE関西」を旗印に皆さまと力を合わせ、企業やヒトが域外からも集まる活力あふれる関西をめざします。その実現のためにも、飛躍へのスプリングボードとなる2025年大阪・関西万博は必ず成功させなければなりません。それには関西のアセットを最大限生かすこと、準備の段階から万博後を見据えた展望を描いておくこと、そして何より皆さまの協力が必要です。万博の成功、さらには“関西のありたき姿”の実現に向けて、ともに歩んでまいりましょう。

最後になりましたが、この4年間の皆さまのご協力にあらためて感謝いたしますとともに、今後ますますのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



2021年度は、「関西ビジョン2030」の初年度、そして年度内に策定する3カ年の中期計画(2022～2024年度)への橋渡しの年という重要な年度である。

今年度の事業計画では、ビジョンで今後の取り組みの方向性として示した「7本の矢」に関連する「グローバル・アジア／交流」「産業イノベーション」「地方分権・広域行政」「企業制度・民の力」「多様な人材の活躍」「心身ともに健やかになる地域」「DX」の7つの事業に加え、

グリーン化等も含む「地球環境・エネルギー」、さらにはこれらのベースとなる2つの事業「インフラ」「経済財政」を掲げている。ビジョンのコンセプト「先駆ける関西、ファーストペンギンの心意気」にのっとり、着実に具体的な成果をあげるべく取り組みを進めていく。

また、2025年大阪・関西万博については、2025年日本国際博覧会協会の理事団体として、機運醸成や開催準備に引き続き尽力する。

2021年度事業計画概要

グローバル・アジア／交流

(1) アジアをはじめとする世界との双方向のつながりの強化

- ①「アジア・ビジネス創出プラットフォーム(ABCプラットフォーム)」の推進
～人材育成・活用、医療・介護、中堅・中小企業支援、農業、観光、環境、スタートアップ～
- ②アジア各国における人材の育成・ネットワークの強化
- ③海外訪問団や対話会・交流会等を通じた各国政府・経済界との連携の促進

(2) インバウンドおよび国内観光振興の取り組み

- ①アフターコロナにおける観光振興に向けた関西観光本部の支援と誘客方策の提案

地方分権・広域行政

(4) 道州制実現につながる地方分権・広域行政の推進

- ①広域行政・道州制の実現および地方分権改革の進展に向けた活動
- ②関西広域連合の機能強化への支援および各分野における共同事業の実施

多様な人材の活躍

(6) 多様な人材が能力を最大限発揮できる雇用・労働環境の整備

- ①働き方の質の変革に関する調査研究・提言
- ②「活躍の場を求めるヒトを惹きつける舞台」となるための新たな取り組み
- ③労働法改正への対応等人事・労務課題の解決支援

DX

(8) 関西におけるDXの推進

- ①ブループリント「関西DX戦略 2025(仮称)」の策定
- ②地域・企業におけるDX推進に資する取り組み

インフラ

(10) 複眼型国土の形成と広域交通・物流ネットワークの整備・強化

- ①複眼型国土の形成に向けた意見発信
- ②北陸新幹線・リニア中央新幹線の早期全線開業の推進
- ③関西の高速道路ネットワークの強化に向けた取り組み
- ④関西3空港の最適活用に向けた検討および関空の利用促進
- ⑤万博開催時における円滑な交通・物流に向けた提案および港湾等に関する関西国際物流の活性化
- ⑥国・地域・企業の災害対応力強化の促進 ～防災力・復元力の向上～

【2025年大阪・関西万博】

- ・「2025年日本国際博覧会協会」の一員として万博基本計画を着実に推進し、開催準備を加速
- ・関経連の各事業を通じ、万博を通して発信したい将来像の具体化

<Toward EXPO2025 ～万博をめざして取り組む主なテーマ～>

- | | |
|------------|-----------------------------|
| イノベーション創出 | 健康・医療、水素、AI・IoT、けいはんなの技術の活用 |
| 関西の魅力向上・発信 | 観光、IR、夢洲などのまちづくり、文化 |
| 基盤整備 | 鉄道、道路、空港、港湾 |

産業イノベーション

(3) 独創的な価値を生む経済圏に向けた取り組み

- ①「あっちこっち関西・イノベーションプロジェクト」始動に向けた調査研究・体制構築
- ②「起業街道・関西プロジェクト」推進によるベンチャー・エコシステムの確立
- ③関西が強み・ポテンシャルを有する各産業の振興
- ④けいはんな学研都市のイノベーション拠点機能強化に向けた支援
- ⑤関西広域連合と連携したイノベーション創出の仕組みづくり

企業制度・民の力

(5) マルチステークホルダー主義に基づく企業経営に向けた取り組み

- ①三方よしにもとづく「民の力」を効果的に発揮する仕組みづくりに関する調査研究
- ②社会・経済環境の変化を踏まえた競争政策および会計制度に関する調査研究・提言

心身ともに健やかになる地域

(7) スポーツ・文化などを通じた心身ともに健やかになる活力ある地域づくり

- ①「関西スポーツ振興ビジョン」実現および WMG2021 関西のレガシー創出に向けた取り組み
～生涯スポーツ振興、トップアスリート育成（「関西アスリートアカデミー（仮称）」構想の策定）、
スポーツイベント招致、スポーツ産業振興～
- ②関西各地の歴史・文化等の関西ブランドの発信および都市魅力の向上への支援

地球環境・エネルギー

(9) 経済成長と脱炭素社会が両立する環境・エネルギー政策の推進

- ①グリーン成長および 3E+S を前提としたカーボンニュートラル実現に向けた取り組み
- ②次世代などへの環境・エネルギー政策に関する学習機会の提供

経済財政

(11) 財政健全化と経済成長の両立に向けた経済財政運営の実現

- ①財政健全化と経済成長の両立に向けた調査研究・提言
- ②国際金融都市構想に関する調査研究・意見発信
- ③関西経済の動向・実態の把握と情報発信

2021～2022年度の事業推進体制

役員改選期である今年度の定時総会・理事会では、会長、副会長の選定を行った。松本会長および選定された13名の副会長のうち9名は再任。ダイキン工業の十河政則社長兼CEO、川崎重工の金花芳則会長、三井住友信託銀行の常陰均特別顧問、パナソニックの佐藤基嗣副社長の4名が新たに副会長に就任した。なお、副会長を2001年5月から20年務められたダイキン工業の井上礼之会長、2007年5月より14年務められたパナソニックの松下正幸特別顧問、2013年5月から8年務められた神戸製鋼所の佐藤廣士顧問は、今総会をもって退任された。

委員会については、「関西ビジョン2030」で示した「7本の矢」を具体的な取り組みに落とし込み、推進していく体制を整えた。「プロジェクトDX in 関西」を強力に推進する観点から、「DX特別委員会」を新設、また、「多様な人材が能力を最大限発揮できる環境整備」に向け、「グローバル人材育成委員会」を発展的に解消し、労働政策委員会内に「ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)専門委員会」を新設することとした。

事業計画の全文および2021年度各体制等については、
関経連ホームページに掲載しています。
URL: <https://www.kankeiren.or.jp>

●副会長

(2021年5月31日現在)

氏 名	担当委員会および担当
牧野 明次 (岩谷産業会長兼CEO)	スポーツ振興委員会 労働政策委員会
大坪 清 (レンゴー会長兼CEO)	国際委員会
角 和夫 (阪急電鉄会長)	都市・観光・文化委員会 万博推進担当
木股 昌俊 (クボタ会長)	科学技術・産業振興委員会 ベンチャー・エコシステム委員会
園 潔 (三菱UFJ銀行特別顧問)	経済財政委員会 スポーツ振興委員会
真鍋 精志 (西日本旅客鉄道会長)	地方分権・広域行政委員会
小林 哲也 (近鉄グループホールディングス会長 グループCEO)	企業制度委員会 国土・広域基盤委員会
村尾 和俊 (西日本電信電話相談役)	科学技術・産業振興委員会 国土・広域基盤委員会 DX特別委員会 万博推進担当
堀場 厚 (堀場製作所会長兼グループCEO)	科学技術・産業振興委員会 ベンチャー・エコシステム委員会
十河 政則 (ダイキン工業社長兼CEO)	企業制度委員会 国際委員会
金花 芳則 (川崎重工会長)	地球環境・エネルギー委員会
常陰 均 (三井住友信託銀行特別顧問)	経済財政委員会 国土・広域基盤委員会
佐藤 基嗣 (パナソニック副社長)	国際委員会 万博推進担当

●委員会一覧

(2021年5月31日現在)

委員会とその所管事項	委員長・担当委員長・専門委員長・副委員長(万博特別委員会については委員)
統括委員会 各委員会の重要事項の報告・調整等	委員長 松本 正義(関西経済連合会 会長)
経済財政委員会 財政健全化と経済成長の両立に向けた中長期的な経済財政運営の総合的検討・提言(税・財政)、経済情勢・景気動向の実態把握と経済・金融政策の検討	委員長 常陰 均(三井住友信託銀行 特別顧問) 副委員長 中野健二郎(京阪神ビルディング 会長) 副委員長 沖津 嘉昭(岩井コスモ証券 会長CEO) 副委員長 西村 義明(住友理工 特別顧問) 副委員長 廣富 靖以(共英製鋼 社長) 副委員長 福山 漢成(野村證券 常務大阪駐在兼大阪支店長) 副委員長 向原 潔(三井住友トラスト基礎研究所 アドバイザー) 副委員長 横山 達慶(紀陽銀行 上席執行役員大阪事業部長) 副委員長 池田 雅一(三菱UFJリサーチ&コンサルティング 顧問) 副委員長 緒方 善行(三井住友銀行 常務執行役員) 副委員長 村田真由美(永寿福祉会 理事長)
企業制度委員会 中長期的な企業価値の向上に資する企業制度(コーポレートガバナンス、四半期開示制度、会計制度および競争政策等)の検討・提言および普及啓発	委員長 角元 敬治(三井住友銀行 副頭取) 副委員長 串田 守可(栗本鐵工所 会長) 副委員長 廣地 厚(グンゼ 社長) 副委員長 臼杵 弘宗(西村あさひ法律事務所 法人社員) 副委員長 大島 正照(TMI総合法律事務所大阪オフィス 弁護士) 副委員長 西村 義明(住友理工 特別顧問) 副委員長 有明三樹子(りそな銀行 常務執行役員) 副委員長 影浦 智子(オリックス 執行役ERM本部長) 副委員長 橋本 雅博(住友生命保険 会長) 副委員長 柿原アツ子(川崎重工 執行役員サステナビリティ推進本部長) 副委員長 井村 守宏(イムラ封筒 会長)

委員会とその所管事項		委員長・担当委員長・専門委員長・副委員長(万博特別委員会については委員)	
地方分権・広域行政委員会 地方分権・分権型道州制や地方創生の実現に向けた調査・提言、関西広域連合の発展支援と関西広域連携の推進	委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	錢高 一善(錢高組 会長) 向原 潔(三井住友トラスト基礎研究所 アドバイザー) 亀本 茂(カネカ 特別顧問) 山本 良一(J.フロント リテイリング 取締役会議長) 加藤 好文(京阪ホールディングス 会長CEO) 長峯 純一(関西学院 副学長) 吉井 満隆(バンドー化学 社長) 横山 達慶(紀陽銀行 上席執行役員大阪事業部長) 奥村 嘉孝(第一生命保険 常務執行役員関西営業本部長) 石井 貴(りそな銀行 執行役員大阪営業部長) 井口富紀子(シークス 執行役員)	
科学技術・産業振興委員会 関西に強みがある健康・医療、航空機、環境・エネルギー、IoT・AI/ロボット等の次世代成長産業振興につながる分野のクラスター形成、科学技術・産業政策、人材育成など、Society5.0の実現に向けた産業イノベーションに関する総合的な推進	委員長 副委員長(健康・医療担当) 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	牧村 実(川崎重工業 顧問) 谷藤 道久(田辺三菱製薬 執行役員経営戦略部長) 池田 全徳(日本触媒 相談役) 生駒 昌夫(きんでん 会長) 鈴木 博之(丸一鋼管 会長兼CEO) 手代木 功(塩野義製薬 社長) 川邊 辰也(関西電気保安協会 理事長) 土井 義宏(関西電力送配電 社長) 五十川龍之(新明和工業 社長) 浅見 徹(国際電気通信基礎技術研究所 社長) 山本 靖則(島津製作所 取締役専務執行役員) 三井 正則(ダイハツ工業 社友) 樋口 敦子(大日本住友製薬 執行役員) 斎藤 隆(日立製作所 関西支社長執行役員) 藤城 豪二(みずほ銀行 副頭取) 國井 美和(住友電気工業 執行役員) 小川 立夫(パナソニック 執行役員) 川野 淳子(三菱UFJリサーチ&コンサルティング 常務執行役員)	
ベンチャー・エコシステム委員会 うめきたやけいはんな等の拠点連携、大企業とベンチャーとの協業、ベンチャーを生み出す行政と経済界が一体となった体制整備等による関西におけるベンチャー・エコシステムの形成	委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	澤田 拓子(塩野義製薬 副社長ヘルスケア戦略本部長) 諸富 隆一(阪急阪神不動産 社長) 稲塚 徹(ダイキン工業 常務専任役員) 阿南 雅哉(京都銀行 代表取締役専務) 細見 恭樹(池田泉州銀行 取締役専務執行役員) 高橋 豊典(オリックス 執行役グループ関西代表) 田中 昭二(デロイトトーマツコンサルティング 大阪オフィス統括執行役員) 國井 美和(住友電気工業 執行役員) 三条 寛和(三菱電機 執行役員関西支社長) 堀 直樹(三菱UFJ銀行 会長) 山崎 考平(大和ハウス工業 常務執行役員)	
地球環境・エネルギー委員会 経済成長の根幹を担う電力の低廉かつ安定的な供給と、3E+Sを前提としたエネルギー政策、経済と両立する環境政策の推進に関する意見発信および具体的アクションの実施	委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	古川 実(日立造船 相談役) 長 勇(椿本チエイン 会長兼CEO) 稲垣 史則(島津製作所 常務執行役員) 生駒 昌夫(きんでん 会長) 中谷 浩(川崎重工業 取締役常務執行役員技術開発本部長) 間島 寛(岩谷産業 社長) 堀 晋一(三井物産 執行役員関西支社長) 酒井 真理(ピーチコーポレーション 社長) 小川 立夫(パナソニック 執行役員) 酒井香世子(損害保険ジャパン 取締役執行役員) 池田 雅信(エコトラック 社長)	
国土・広域基盤委員会 【リニア・北陸新幹線専門委員会】 複眼型の国土形成、広域交通・物流基盤の整備・強化(リニア中央新幹線・北陸新幹線、高速道路、関西国際空港、阪神港等)、首都中枢機能バックアップへの取り組みや地域・企業の危機対応力向上	委員長 リニア・北陸新幹線専門委員長 関空担当委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	檜原 誠慈(東洋紡 会長) 藤原 崇起(阪神電気鉄道 会長) 山中 諄(南海電気鉄道 特別顧問) 山谷 佳之(関西エアポート 社長) 松井 毅(大阪ガス 副社長) 鴻池 忠彦(鴻池運輸 社長) 前川 秀和(西日本高速道路 社長) 吉田 光市(阪神高速道路 社長) 竹添進二郎(日本通運 常務執行役員関西ブロック地域総括兼大阪支店長)	
都市・観光・文化委員会 【都市創造専門委員会】 関西の強みを官民一体で発信するための「KANSAIブランド」展開やインバウンド促進、夢洲等の開発プロジェクトやエリアマネジメントなど魅力ある都心づくり	委員長 都市創造専門委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	角 和夫(阪急電鉄 会長) 香川 次朗(関電不動産開発 会長) 鳥井 信吾(サントリーホールディングス 副会長) 福島 伸一(大阪国際会議場 社長) 難波 正人(竹中工務店 副社長) 新居 勇子(ANAあざんど 副社長) 白川 正彰(近鉄グループホールディングス 取締役専務執行役員) 武内 紀子(コングレ 社長) 高橋 豊典(オリックス 執行役グループ関西代表) 北垣 真紀(ロイヤルホテル 執行役員) 角元 敬治(三井住友銀行 副頭取) 三田 周作(近畿日本ツーリスト関西 社長) 鹿毛 輝雅(電通 執行役員) 武井 真剛(日本航空 執行役員西日本地区支配人) 北村 豪(JTB 執行役員関西広域代表)	

[illegible]